

令和4年1月13日14時00分  
資料配布 近畿地方整備局

ふるさと

## 令和3年度 手づくり郷土賞（国土交通大臣表彰） 近畿地方整備局管内から選定された3団体に認定証を授与します

令和3年度の手づくり郷土賞に近畿地方整備局管内から優れた取り組みとして、一般部門で3件が選定されました。

今回、一般部門に選定された3件の取り組みに対して、下記のとおり認定証の授与式を執り行います。

### ■認定証授与式の概要

- ・日 時：令和4年1月18日（火）13時00分～14時00分
- ・場 所：近畿地方整備局（大阪合同庁舎第1号館）第1別館2階 大会議室
- ・主な次第：1）挨拶  
2）受賞団体による活動報告、意見交換  
3）認定証授与  
4）記念撮影

※手づくり郷土賞の概要は、参考資料をご覧ください。

### ■認定証を授与する取組

- 選定団体：川と海つながり共創プロジェクト（京都・亀岡市）  
件 名：京都・亀岡～保津川のプラごみをなくそう～
- 選定団体：藪の傍（京都・向日市）  
件 名：「竹の径」に倣え「藪の径」景観づくり～市民による手づくり郷土ランドスケープ～
- 選定団体：白鷺学校運営協議会（兵庫・姫路市）  
件 名：姫路城中曲輪バタフライガーデン創造事業  
～SDGsの理念の実現と学校を核とした郷土づくり～

### ■当日は取材可能です

取材を希望される方は、事前登録の上、開式までに会場へお越し下さい。（別紙1参照）

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法を変更する場合があります。  
その場合は、改めて連絡させていただきます。

〈取扱い〉 —

〈配布場所〉 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、京都府政記者クラブ、  
兵庫県政記者クラブ、中播磨県民センター庁舎内記者室

〈問い合わせ先〉

近畿地方整備局 企画部 企画課 建設専門官 細川 晋（内線 3153）  
TEL：06-6942-1141（代表） FAX：06-6942-7463

## 認定証授与式の概要

### 令和3年度「手づくり郷土賞」の選定

手づくり郷土賞選定委員会での選定を経て、全国各地から応募のあった30件（一般部門27件、大賞部門3件）の中から、優れた取組13件（一般部門12件、大賞部門1件）が手づくり郷土賞として選定されました。

その内、近畿地方整備局管内は、6件（一般部門5件、大賞部門1件）の応募の中から一般部門3件が選定されました。

### 令和3年度「手づくり郷土賞」認定証授与式の開催

今般、近畿地方整備局管内から選定された3団体に対し、手づくり郷土賞認定証の授与式を下記のとおり執り行います。

#### 1. 日時

令和4年1月18日（火）13時00分～14時00分

#### 2. 会場

近畿地方整備局（大阪府大阪市中央区大手前1-5-44）

第1別館 2階 大会議室

（詳細は、別紙2をご覧ください）

#### 3. 内容

- 1) 挨拶
- 2) 受賞団体による活動報告、意見交換
- 3) 認定証授与
- 4) 記念撮影

#### 4. 出席者

各団体、社会資本管理者、および近畿地方整備局

（各選定団体の活動内容については、別紙3をご覧ください。）

#### 5. 取材対応

○当日は取材可能です。取材を希望される方は、1月17日（月）15時までに、電子メール（[kkr-uketsuke2@nyb.mlit.go.jp](mailto:kkr-uketsuke2@nyb.mlit.go.jp)）で、

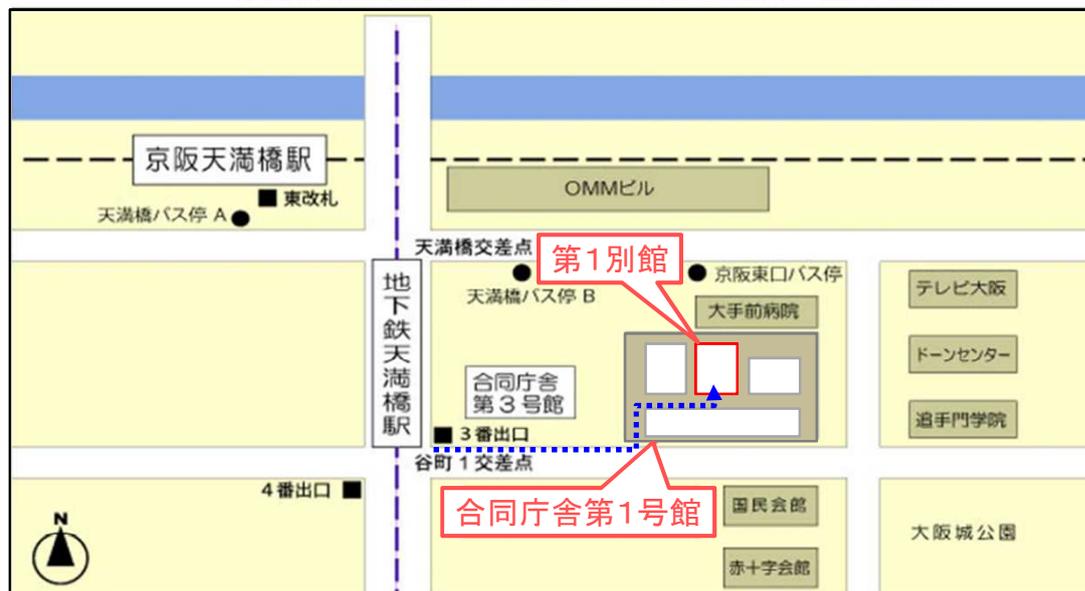
【①所属(会社名、役職)、②氏名(ふりがな)、③連絡先、④メールアドレス】

を登録のうえ、開始10分前までに会場へお越しくください。

以上

# 「手づくり郷土賞」認定証授与式 会場のご案内

地下鉄谷町線/京阪電鉄 天満橋駅下車、3番出口より東へ徒歩100m



- 会場は、合同庁舎第1号館（第1別館）2階 大会議室です。
- 合同庁舎第1号館（本館）にはセキュリティゲートが設置されていますので、合同庁舎第1号館（本館）には入らず、直接、第1別館にお越し下さい。
- 第1別館にはセキュリティゲートは設置されていないので、そのまま入館できます。

## ● 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する留意事項

- 咳などの風邪症状、発熱等、体調不良のある方は参加をご遠慮下さい。
- 取材の途中で頻回に咳をする方がいた場合、退席を要請する場合があります。
- 取材中のマスクの着用など、参加される方ご自身で感染予防対策をお願いします。
- うがい、手洗いの励行をお願いします。

京都・亀岡

(京都府亀岡市)

ほづがわ  
～保津川のプラごみをなくそう～



『子ども海ごみ探偵団』による保津川  
清掃活動・ごみ調査活動



『子ども海ごみ探偵団』による  
舞鶴海岸でのごみ調査活動

<活動内容>

- ・市内を貫流する保津川において、漂着するごみに危機感を抱いた保津川下りの船頭有志により平成16年に清掃活動を開始。その後、様々な団体・企業など19団体と連携し活動を継続している。
  - ・「こども海ごみ探偵団」では小中学生を対象に、ごみの回収・調査を行っている。
- また「保津川の日」を制定し、様々な団体を巻き込んだ市民参加型の一大清掃とイベントでリユース食器を使う屋台を開催し、清掃活動や環境教育を通じて内陸部からの海ごみの発生抑制に取り組んでいる。

<地域活動団体>

川と海つながり共創プロジェクト

<対象となる社会資本>

保津川(一級河川桂川) ※管理者:京都府

たけ みち なら やぶ みち  
「竹の径」に倣え「藪の径」景観づくり

(京都府向日市)

ふるさと  
～市民による手づくり郷土ランドスケープ～



市道脇に竹垣を設置し、土砂流出防止・  
景観向上を図っている



放置竹林を伐開し竹棧敷を作成・合気道の  
練習などで活用

<活動内容>

- ・当該地域は元タケノコ畑と竹藪道が文化的景観・風致に優れた地域であったが、高齢化・竹産業の衰退により放置竹林が顕著となり、景観の悪化・住環境への悪影響を及ぼしていた。
- 平成29年より常時20人程度で竹藪道(市道)、放置竹林(約2ha)を整備。
- ・間伐竹で冒険小屋・茶室・竹棧敷・市道竹垣を製作、タケノコ栽培教室開催、メンマづくりを通じ食利用による竹林整備等を実施。
  - ・これら美化活動・間伐竹での製作活動・イベントを通して、竹文化の継承・地域の活性化に取り組んでいる。

<地域活動団体>

やぶ そば  
藪の傍

<対象となる社会資本>

向日市道1068号 ※管理者:向日市

姫路城中曲輪<sup>なかくるわ</sup>バタフライガーデン創造事業 (兵庫県姫路市)  
～SDGsの理念の実現と学校を核とした<sup>ふるさと</sup>郷土づくり～



小学生が地域ボランティアと一緒にプランターづくり



小学生が地域ボランティアと道路沿いにプランターを設置

<活動内容>

- ・都市開発で地域に新たな住民が増加し、世代間の交流・地域リーダーの育成・新しい地域文化構築が必要であった中、ジャコウアゲハが飛び交った400年前の城下の再現を目標に、小学生がつなぎ役となり、蜜源植物の苗作り・移植活動を新旧住民で構成する地域ボランティアと協力して実施。
- ・当地域は国の特別史跡姫路城跡を含む都市公園に指定され、一般的なビオトープが設置できない制約がある中、公園内の「しらさぎの小径」に隣接した学校敷地や姫路公園を含む中曲輪地域を中心に周辺施設と協力し、設置場所を拡大するなど、地域の連携向上・魅力向上に努めている。

<地域活動団体>

白鷺<sup>はくろ</sup>学校運営協議会

<対象となる社会資本>

姫路公園(都市公園)

※管理者:姫路市

## ◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和3年度で36回目。

### 【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

### 【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。  
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

## ◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

### 手づくり郷土賞選定委員会（令和3年度）

委員長	秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究院 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	斉藤 俊幸	地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京工業大学 准教授
委員	野澤 康	工学院大学 副学長

(敬称略)